

## トマトのアザミウマ類の 発生量が多く推移しています

～白ぶくれ症果防止のため防除を徹底しましょう～

### 1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

トマト防除適期決定ほ（北秋田市）における青色粘着板トラップ調査から、アザミウマ類の急増期は、平年より早い5月6半旬（平年6月5半旬）で、その後の誘殺数も平年より多く推移しており、6月6半旬の誘殺数は196頭（平年59頭）で多かった（図-1）。

7月7日に仙台管区気象台から発表された東北地方1か月予報では、向こう1か月の気温は高いと予報されている。

以上のことから、今後、アザミウマ類による白ぶくれ症果の増加が懸念されるため、以下の対策を行う。

### 2. 防除対策

- 1) ハウス周辺の雑草は、アザミウマ類の増殖源となるため除草を徹底する。
- 2) 防虫ネットを展張しているハウスでは、ハウスへの出入り時の扉の開閉は素早く行うよう努める。
- 3) 特にヒラズハナアザミウマによる白ぶくれ症果の被害を防止するため、薬剤は花房に付着するよう丁寧に散布する。
- 4) 抵抗性の発達を回避するため、RACコードの異なる薬剤をローテーションして散布する（表-1）。

### 3. 資料

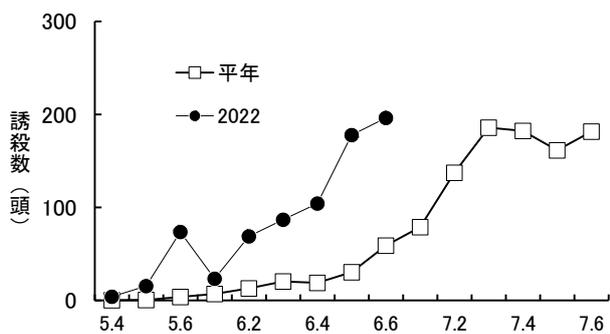


図-1 青色粘着板へのアザミウマ類の誘殺数 (月.半旬)  
(北秋田市防除適期決定ほ)

表-1 アザミウマ類の防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
3A	アーデント水和剤 ※	1,000倍	収穫前日まで	3回以内
4A	ベストガード水溶剤	1,000倍	収穫前日まで	3回以内
4A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫前日まで	2回以内
13	コテツフロアブル ※	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
15	カスケード乳剤 ※	2,000倍	収穫前日まで	4回以内
15	マッチ乳剤	2,000倍	収穫前日まで	4回以内

※ ミカンキイロアザミウマでの登録

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660  
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326  
 掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>